

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信 特化型	
信託期間	2025年3月14日まで（2015年3月20日設定）	
運用方針	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	AMP オーストラリアREITマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第3計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

- ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
- ファンドは、オーストラリアの不動産投資信託証券に実質的に投資します。オーストラリアの不動産投資信託証券には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
 * 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ／AMP オーストラリア REITファンド 〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）

愛称：コアランド



第13期（決算日：2016年4月15日）
 第14期（決算日：2016年5月16日）
 第15期（決算日：2016年6月15日）
 第16期（決算日：2016年7月15日）
 第17期（決算日：2016年8月15日）
 第18期（決算日：2016年9月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）（愛称：コアランド）」は、去る9月15日に第18期の決算を行いましたので、法令に基づいて第13期～第18期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	6
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	9
◇損益の状況	10
◇分配金のお知らせ	11
◇お知らせ	11

マザーファンドのご報告

◇AMP オーストラリアREITマザーファンド	12
-------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		投資信託 組入比率	純資産 総額	資産 産額
	(分配落)	税金 込 配 分	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	円			%			百万円
2015年3月20日	10,000	—	—	—	—	10,000.00	—	2,119
1期(2015年4月15日)	9,751	—	—	△ 2.5	9,754.41	△ 2.5	98.3	3,202
2期(2015年5月15日)	9,942	—	—	2.0	9,971.04	2.2	98.5	3,976
3期(2015年6月15日)	9,755	—	—	△ 1.9	9,792.34	△ 1.8	98.7	4,076
4期(2015年7月15日)	9,567	10	10	△ 1.8	9,703.70	△ 0.9	97.6	4,035
5期(2015年8月17日)	9,515	10	10	△ 0.4	9,725.80	0.2	98.0	3,951
6期(2015年9月15日)	8,681	10	10	△ 8.7	8,835.64	△ 9.2	98.2	3,553
7期(2015年10月15日)	8,753	10	10	0.9	8,941.12	1.2	99.1	3,143
8期(2015年11月16日)	8,810	10	10	0.8	9,008.30	0.8	98.0	2,848
9期(2015年12月15日)	8,976	10	10	2.0	9,189.90	2.0	98.9	2,734
10期(2016年1月15日)	8,543	10	10	△ 4.7	8,838.54	△ 3.8	98.3	2,488
11期(2016年2月15日)	8,583	10	10	0.6	8,937.59	1.1	98.1	2,347
12期(2016年3月15日)	9,408	10	10	9.7	9,781.24	9.4	97.8	2,474
13期(2016年4月15日)	9,501	10	10	1.1	9,908.19	1.3	98.8	2,389
14期(2016年5月16日)	9,279	10	10	△ 2.2	9,710.84	△ 2.0	96.7	2,321
15期(2016年6月15日)	9,192	10	10	△ 0.8	9,629.01	△ 0.8	97.5	2,282
16期(2016年7月15日)	10,111	10	10	10.1	10,689.48	11.0	96.8	2,513
17期(2016年8月15日)	9,541	10	10	△ 5.5	10,116.78	△ 5.4	98.1	2,172
18期(2016年9月15日)	8,777	10	10	△ 7.9	9,250.96	△ 8.6	97.3	1,966

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第3期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、 円換算ベース)		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第13期	(期首) 2016年3月15日	円 9,408	% —	% 9,781.24	% —	% 97.8
	3月末	9,591	1.9	9,983.81	2.1	98.3
	(期末) 2016年4月15日	9,511	1.1	9,908.19	1.3	98.8
第14期	(期首) 2016年4月15日	9,501	—	9,908.19	—	98.8
	4月末	9,501	0.0	9,916.92	0.1	97.6
	(期末) 2016年5月16日	9,289	△ 2.2	9,710.84	△ 2.0	96.7
第15期	(期首) 2016年5月16日	9,279	—	9,710.84	—	96.7
	5月末	9,458	1.9	9,899.26	1.9	97.5
	(期末) 2016年6月15日	9,202	△ 0.8	9,629.01	△ 0.8	97.5
第16期	(期首) 2016年6月15日	9,192	—	9,629.01	—	97.5
	6月末	9,202	0.1	9,700.49	0.7	96.3
	(期末) 2016年7月15日	10,121	10.1	10,689.48	11.0	96.8
第17期	(期首) 2016年7月15日	10,111	—	10,689.48	—	96.8
	7月末	10,018	△ 0.9	10,596.33	△ 0.9	98.1
	(期末) 2016年8月15日	9,551	△ 5.5	10,116.78	△ 5.4	98.1
第18期	(期首) 2016年8月15日	9,541	—	10,116.78	—	98.1
	8月末	9,629	0.9	10,184.23	0.7	98.4
	(期末) 2016年9月15日	8,787	△ 7.9	9,250.96	△ 8.6	97.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

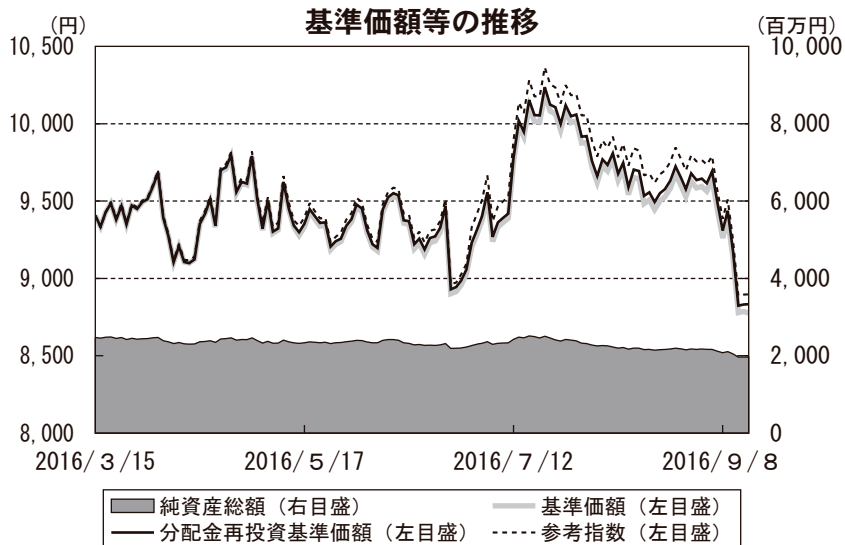
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第13期～第18期：2016/3/16～2016/9/15)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ6.1% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



第13期首：9,408円
 第18期末：8,777円
 (既払分配金 60円)
 騰落率：-6.1%
 (分配金再投資ベース)

- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	オーストラリアREIT (不動産投資信託証券) 市況のローカルベースでの上昇が基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第13期～第18期：2016/3/16～2016/9/15)

◎オーストラリアREIT市況

- ・RBA（豪州連邦準備銀行）による金融緩和策を受けた長期金利の低下に加え、国内経済の回復期待やREITの決算が総じて堅調な内容を示したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況はローカルベースで上昇しました。

◎為替市況

- ・日銀の金融政策に対する不透明感やRBAによる政策金利の引き下げに加え、イギリスのEU（欧州連合）離脱の決定などを受けたリスク回避的な動きなどから、豪ドルは円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ／AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)>

- ・当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れる運用を行いました。

<AMP オーストラリアREITマザーファンド>

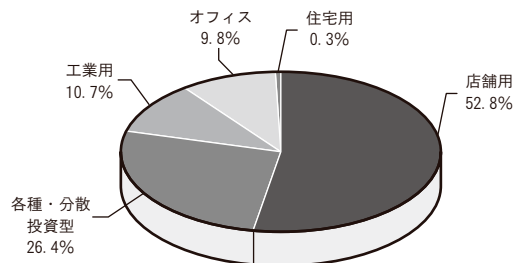
基準価額は当作成期首に比べ5.4%の下落となりました。

- ・オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上により恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。
- ・個別銘柄では、堅調な業績見通しを発表した各種・分散投資型REITの「MIRVAC GROUP」や店舗用REITの「SCENTRE GROUP」などが上昇しました。
- ・当作成期においては、オーストラリアREIT市況のローカルベースでの上昇がプラスとなったものの、豪ドルが対円で下落したことがマイナスとなり、基準価額は下落しました。

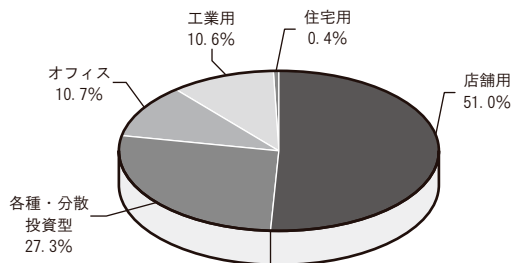
(ご参考)

用途別構成比率

作成期首（2016年3月15日）



作成期末（2016年9月15日）

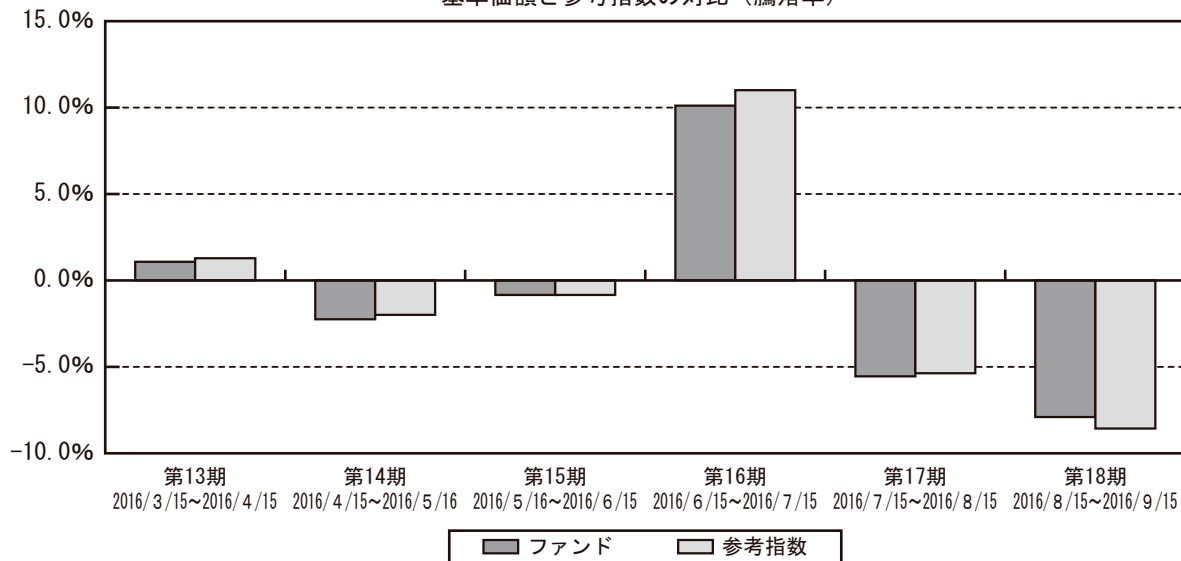


・比率はREIT評価額に対する割合です。

・GICS（世界産業分類基準）に基づいてAMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドの分類で表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第13期～第18期: 2016/3/16～2016/9/15)

基準価額と参考指数の対比 (騰落率)



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はS & P / ASX 200 A-REIT Index（配当込み、円換算ベース）です。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.105%	0.108%	0.109%	0.099%	0.105%	0.114%
当期の収益	1	—	—	10	10	10
当期の収益以外	8	10	10	—	—	—
翌期繰越分配対象額	214	204	194	249	265	292

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)>

◎今後の運用方針

- ・マザーファンドへの投資を通じて、オーストラリアのREITを高位に組み入れ、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざす運用を行います。

<AMP オーストラリアREITマザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリアREITについては、足下はREIT価格の高値警戒感などを背景に利益確定売りの動きが散見されるものの、RBAの金融緩和策などを受けた国内経済の回復が実物不動産市場の下支えになるとみています。また、住宅市場に関しては成長の鈍化や一部の銀行が不動産向け融資に対して慎重な姿勢を示していたことが確認されたものの、足下は投資家からの需要の高まりなどを背景に住宅市場は回復の兆しを見せており、着実な成長が期待されます。

◎今後の運用方針

- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、相対的に堅調な内需の恩恵を受けやすい店舗用REITに注目しており、小売りの事業環境が良好なシドニーやメルボルンといった都市地域の恩恵を享受できるREITについては、選別的な投資機会を提供するものとして積極的な見方をしています。オフィス用REITは、シドニーなどに位置する優良な物件を中心にテナントからの需要が高く、空室率も低水準であることなどから、今後の賃料上昇や長期的な資産価値の上昇が期待されます。個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目します。

○ 1万口当たりの費用明細

(2016年3月16日～2016年9月15日)

項 目	第13期～第18期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(42)	(0.437)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.025	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(投 資 信 託 証 券)	(2)	(0.025)	
(c) そ の 他 費 用	4	0.045	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	81	0.852	
作成期中の平均基準価額は、9,566円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月16日～2016年9月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第13期～第18期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千口 89,941	千円 87,000	千口 500,951	千円 497,000

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月16日～2016年9月15日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) >

該当事項はございません。

<AMP オーストラリアREITマザーファンド>

区分	第13期～第18期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 82	百万円 —	% —	百万円 491	百万円 44	% 9.0

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2016年9月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	第12期末	第18期末	
	口数	口数	評価額
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千口 2,564,989	千口 2,153,979	千円 1,962,275

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2016年9月15日現在）

項 目	第18期末	
	評 価 額	比 率
AMP オーストラリアREITマザーファンド	千円 1,962,275	% 99.3
コール・ローン等、その他	13,848	0.7
投資信託財産総額	1,976,123	100.0

(注) AMP オーストラリアREITマザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（1,960,469千円）の投資信託財産総額（1,967,243千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=76.61円			
--------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末	第17期末	第18期末
	2016年4月15日現在	2016年5月16日現在	2016年6月15日現在	2016年7月15日現在	2016年8月15日現在	2016年9月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,408,968,680	2,327,350,202	2,327,038,430	2,520,145,912	2,182,582,858	1,976,123,031
コール・ローン等	11,032,519	10,511,401	10,179,776	7,693,343	9,993,546	8,847,971
AMP オーストラリアREITマザーファンド(評価額)	2,381,936,161	2,316,838,801	2,276,858,654	2,505,452,569	2,165,589,312	1,962,275,060
未収入金	16,000,000	—	40,000,000	7,000,000	7,000,000	5,000,000
(B) 負債	19,355,867	5,676,898	44,658,782	6,427,901	10,324,827	9,576,742
未払収益分配金	2,515,055	2,502,022	2,483,071	2,486,074	2,276,653	2,240,445
未払解約金	13,616,987	—	39,130,427	978,380	4,900,300	4,475,722
未払信託報酬	3,215,855	3,166,997	3,037,738	2,956,110	3,140,076	2,853,489
未払利息	—	19	16	9	12	13
その他未払費用	7,970	7,860	7,530	7,328	7,786	7,073
(C) 純資産総額(A-B)	2,389,612,813	2,321,673,304	2,282,379,648	2,513,718,011	2,172,258,031	1,966,546,289
元本	2,515,055,004	2,502,022,519	2,483,071,527	2,486,074,607	2,276,653,843	2,240,445,568
次期繰越損益金	△ 125,442,191	△ 180,349,215	△ 200,691,879	27,643,404	△ 104,395,812	△ 273,899,279
(D) 受益権総口数	2,515,055.004口	2,502,022.519口	2,483,071.527口	2,486,074.607口	2,276,653.843口	2,240,445.568口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,501円	9,279円	9,192円	10,111円	9,541円	8,777円

○損益の状況

項 目	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	—	△ 576	△ 432	△ 460	△ 484	△ 341
受取利息	—	—	11	5	7	—
支払利息	—	△ 576	△ 443	△ 465	△ 491	△ 341
(B) 有価証券売買損益	28,793,683	△ 50,083,936	△ 16,212,249	233,479,860	△ 124,795,451	△ 166,223,058
売買益	30,414,704	62,747	1,173,925	233,733,243	4,150,457	281,901
売買損	△ 1,621,021	△ 50,146,683	△ 17,386,174	△ 253,383	△ 128,945,908	△ 166,504,959
(C) 信託報酬等	△ 3,223,825	△ 3,174,857	△ 3,045,268	△ 2,963,438	△ 3,147,862	△ 2,860,562
(D) 当期損益金 (A+B+C)	25,569,858	△ 53,259,369	△ 19,257,949	230,515,962	△ 127,943,797	△ 169,083,961
(E) 前期繰越損益金	△ 128,301,620	△ 104,218,617	△ 154,865,126	△ 173,542,723	49,740,525	△ 78,676,510
(F) 追加信託差損益金	△ 20,195,374	△ 20,369,207	△ 24,085,733	△ 26,843,761	△ 23,915,887	△ 23,898,363
(配当等相当額)	(865,556)	(1,075,082)	(2,251,376)	(3,087,823)	(3,839,987)	(4,066,509)
(売買損益相当額)	(△ 21,060,930)	(△ 21,444,289)	(△ 26,337,109)	(△ 29,931,584)	(△ 27,755,874)	(△ 27,964,872)
(G) 計 (D+E+F)	△ 122,927,136	△ 177,847,193	△ 198,208,808	30,129,478	△ 102,119,159	△ 271,658,834
(H) 収益分配金	△ 2,515,055	△ 2,502,022	△ 2,483,071	△ 2,486,074	△ 2,276,653	△ 2,240,445
次期繰越損益金 (G+H)	△ 125,442,191	△ 180,349,215	△ 200,691,879	27,643,404	△ 104,395,812	△ 273,899,279
追加信託差損益金	△ 20,195,374	△ 20,369,207	△ 24,085,733	△ 26,843,761	△ 23,915,887	△ 23,898,363
(配当等相当額)	(866,338)	(1,075,086)	(2,252,403)	(3,208,059)	(3,840,657)	(4,116,156)
(売買損益相当額)	(△ 21,061,712)	(△ 21,444,293)	(△ 26,338,136)	(△ 30,051,820)	(△ 27,756,544)	(△ 28,014,519)
分配準備積立金	53,022,085	50,091,794	46,166,985	58,721,483	56,667,371	61,512,466
繰越損益金	△ 158,268,902	△ 210,071,802	△ 222,773,131	△ 4,234,318	△ 137,147,296	△ 311,513,382

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 2,630,052,621円
 作成期中追加設定元本額 175,223,672円
 作成期中一部解約元本額 564,830,725円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8777円です。
- ② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は273,899,279円です。
- ③ 分配金の計算過程

項 目	2016年3月16日～ 2016年4月15日	2016年4月16日～ 2016年5月16日	2016年5月17日～ 2016年6月15日	2016年6月16日～ 2016年7月15日	2016年7月16日～ 2016年8月15日	2016年8月16日～ 2016年9月15日
費用控除後の配当等収益額	381,853円	—円	—円	15,719,459円	5,390,699円	8,157,367円
費用控除後・繰越欠損金繰戻後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	866,338円	1,075,086円	2,252,403円	3,208,059円	3,840,657円	4,116,156円
分配準備積立金額	55,155,287円	52,593,816円	48,650,056円	45,488,098円	53,553,325円	55,595,544円
当ファンドの分配対象収益額	56,403,478円	53,668,902円	50,902,459円	64,415,616円	62,784,681円	67,869,067円
1万口当たり収益分配対象額	224円	214円	204円	259円	275円	302円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	2,515,055円	2,502,022円	2,483,071円	2,486,074円	2,276,653円	2,240,445円

- ④ 「AMP オーストラリアREITマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支払しております。

○分配金のお知らせ

	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期
1万口当たり分配金 (税込み)	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お 知 ら せ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

AMP オーストラリアREITマザーファンド

《第3期》決算日2016年9月15日

[計算期間：2016年3月16日～2016年9月15日]

「AMP オーストラリアREITマザーファンド」は、9月15日に第3期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割当度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		投資信託証券組入比	純資産総額
	円	騰落率	S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)	騰落率		
(設定日) 2015年3月20日	10,000	—	10,000.00	—	—	百万円 2,100
1期(2015年9月15日)	8,754	△12.5	8,835.64	△11.6	98.4	3,548
2期(2016年3月15日)	9,629	10.0	9,781.24	10.7	98.0	2,469
3期(2016年9月15日)	9,110	△5.4	9,250.96	△5.4	97.5	1,962

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) S&P/ASX 200 A-REIT Indexとは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の1つです。S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み、円換算ベース)とは、S&P/ASX 200 A-REIT Index (配当込み)をもとに、委託会社が計算したものです。S&P/ASX 200 A-REIT IndexはS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P/ASX 200 A-REIT Indexの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) S&P/ASX 200 A-REIT Index (配 当 込 み 、 円 換 算 ベ ー ス)		投 資 信 託 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2016年 3月15日	円	%		%	%
	9,629	—	9,781.24	—	98.0
3月末	9,825	2.0	9,983.81	2.1	98.6
4月末	9,754	1.3	9,916.92	1.4	97.9
5月末	9,733	1.1	9,899.26	1.2	97.8
6月末	9,490	△1.4	9,700.49	△0.8	96.6
7月末	10,358	7.6	10,596.33	8.3	98.4
8月末	9,979	3.6	10,184.23	4.1	98.7
(期 末) 2016年 9月15日	9,110	△5.4	9,250.96	△5.4	97.5

(注) 騰落率は期首比。

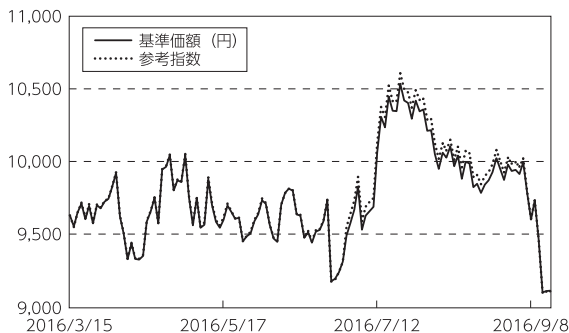
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.4%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎オーストラリアREIT市況

・RBA（豪州連邦準備銀行）による金融緩和策を受けた長期金利の低下に加え、国内経済の回復期待やREITの決算が総じて堅調な内容を

示したことなどを背景に、オーストラリアREIT市況はローカルベースで上昇しました。

◎為替市況

・日銀の金融政策に対する不透明感やRBAによる政策金利の引き下げに加え、イギリスのEU（欧州連合）離脱の決定などを受けたリスク回避的な動きなどから、豪ドルは円に対して下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・オーストラリアのREITを高位に組み入れつつ、中長期的な不動産価値の向上により恩恵が期待される、店舗用の優良な物件を重視しながら、オフィス用REITについては都市毎の経済環境によって選別的な運用を行いました。

・個別銘柄では、堅調な業績見通しを発表した各種・分散投資型REITの「MIRVAC GROUP」や店舗用REITの「SCENTRE GROUP」などが上昇しました。

・当期においては、オーストラリアREIT市況のローカルベースでの上昇がプラスとなったものの、豪ドルが対円で下落したことがマイナスとなり、基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリアREITについては、足下はREIT価格の高値警戒感などを背景に利益確定売りの動きが散見されるものの、RBAの金融緩和策などを受けた国内経済の回復が実物不動産市場の下支えになるとみています。また、住宅市場に関しては成長の鈍化や一部の銀行が不動産向け融資に対して慎重な姿勢を示していたことが確認されたものの、足下は投資家からの需要の高まりなどを背景に住宅市場は回復の兆しを見せており、着実な成長が期待されます。

◎今後の運用方針

- ・運用については、不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。セクター別では、相対的に堅調な内需の恩恵を受けやすい店舗用REITに注目しており、小売りの事業環境が良好なシドニーやメルボルンといった都市地域の恩恵を享受できるREITについては、選別的な投資機会を提供するものとして積極的な見方をしています。オフィス用REITは、シドニーなどに位置する優良な物件を中心にテナントからの需要が高く、空室率も低水準であることなどから、今後の賃料上昇や長期的な資産価値の上昇が期待されます。個別銘柄では、高い物件開発能力を有する銘柄に注目します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月16日～2016年9月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 2 (2)	% 0.025 (0.025)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.044 (0.044) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.069	
期中の平均基準価額は、9,856円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月16日～2016年9月15日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
VICINITY CENTRES	16	54	157	526
ABACUS PROPERTY GROUP	13	43	5	18
INGENIA COMMUNITIES GROUP	9	26	8	23
CHARTER HALL GROUP	(5)	(15)		
CHARTER HALL GROUP	—	—	8	48
CROMWELL PROPERTY GROUP	—	—	32	33
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	—	—	82	187
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	4	15	7	24
SCENTRE GROUP	53	262	270	1,306
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	61	130	8	20
INGENIA COMMUNITIES GROUP	5	15	—	—
	(△ 5)	(△ 15)		
GPT GROUP	6	34	83	439
MIRVAC GROUP	34	67	197	410
STOCKLAND	20	94	121	566
WESTFIELD CORP	13	144	98	1,031
DEXUS PROPERTY GROUP	—	—	32	291
BWP TRUST	12	44	16	58
INVESTA OFFICE FUND	—	—	20	86
CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	11	54
GOODMAN GROUP	11	82	80	577
小 計	263	1,016	1,244	5,704

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月16日～2016年9月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 82	百万円 —	% —	百万円 491	百万円 44	% 9.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2016年9月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%	
VICINITY CENTRES	811	670	2,051	157,139	8.0	
ABACUS PROPERTY GROUP	9	16	46	3,539	0.2	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	28	35	96	7,408	0.4	
CHARTER HALL GROUP	99	90	473	36,246	1.8	
CROMWELL PROPERTY GROUP	32	—	—	—	—	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	216	133	286	21,950	1.1	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	2	—	—	—	—	
SCENTRE GROUP	1,469	1,252	5,698	436,576	22.2	
AVENTUS RETAIL PROPERTY FUND	49	102	251	19,274	1.0	
GPT GROUP	463	386	1,856	142,209	7.2	
MIRVAC GROUP	1,129	966	2,096	160,638	8.2	
STOCKLAND	618	517	2,332	178,683	9.1	
WESTFIELD CORP	534	449	4,286	328,383	16.7	
DEXUS PROPERTY GROUP	252	220	1,927	147,666	7.5	
BWP TRUST	35	31	98	7,565	0.4	
INVESTA OFFICE FUND	192	172	753	57,713	2.9	
CHARTER HALL RETAIL REIT	48	36	151	11,633	0.6	
GOODMAN GROUP	435	366	2,559	196,081	10.0	
合 計	口 数 ・ 金 額	6,430	5,449	24,966	1,912,713	
	銘 柄 数 < 比 率 >	18	16	—	< 97.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

●SCENTRE GROUP（期末組入比率22.2%）

① 信託の概要

WESTFIELD GROUPの再編に伴い、2014年6月に形成されたリートであり、S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約20%を占めます。

豪州国内およびニュージーランドに約40のショッピングセンターを所有しています。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.scentregroup.com/>

●WESTFIELD CORP（期末組入比率16.7%）

① 信託の概要

WESTFIELD GROUPの再編に伴い、2014年6月に形成されたリートであり、S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約20%を占めます。

米国やイギリスなどに約35のショッピングセンターを所有しています。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.westfieldcorp.com/>

●GOODMAN GROUP（期末組入比率10.0%）

① 信託の概要

商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。S&P/ASX 200 A-REIT Indexにおいて約10%を占めます。

② 1口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、1口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス <http://www.goodman.com/>

○投資信託財産の構成

(2016年9月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,912,713	% 97.2
コール・ローン等、その他	54,530	2.8
投資信託財産総額	1,967,243	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（1,960,469千円）の投資信託財産総額（1,967,243千円）に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=76.61円		
--------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年9月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,971,839,004
コール・ローン等	48,712,877
投資証券(評価額)	1,912,713,314
未収入金	10,339,732
未収配当金	73,081
(B) 負債	9,596,010
未払金	4,596,000
未払解約金	5,000,000
未払利息	10
(C) 純資産総額(A-B)	1,962,242,994
元本	2,153,979,210
次期繰越損益金	△ 191,736,216
(D) 受益権総口数	2,153,979,210口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,110円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,564,989,274円
 期中追加設定元本額 89,941,205円
 期中一部解約元本額 500,951,269円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9110円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型) 2,153,979,210円

③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は191,736,216円です。

○損益の状況 (2016年3月16日～2016年9月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	36,146,783
受取配当金	36,046,835
受取利息	102,267
支払利息	△ 2,319
(B) 有価証券売買損益	△132,691,917
売買益	122,700,534
売買損	△255,392,451
(C) 保管費用等	△ 1,022,653
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 97,567,787
(E) 前期繰越損益金	△ 95,178,493
(F) 追加信託差損益金	△ 2,941,205
(G) 解約差損益金	3,951,269
(H) 計(D+E+F+G)	△191,736,216
次期繰越損益金(H)	△191,736,216

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。